

平成30年 台風第8号について

～ 非常に強い台風が先島諸島に接近。厳重に警戒 ～

台風第8号は、非常に強い勢力で10日昼過ぎから夜にかけて、先島諸島にかなり接近する見込みです。先島諸島では、暴風や高波、大雨、高潮による重大な災害が発生するおそれがあります。

報道機関の皆様におかれましては、県民に対して、事前の十分な対策と厳重な警戒の呼びかけをよろしくお願いします。

1 台風の現況と予想

台風第8号は、9日12時には日本の南の北緯22度05分、東経132度50分にあつて、1時間におよそ30キロの速さで西北西へ進んでいます。中心の気圧は925ヘクトパスカル、中心付近の最大風速は50メートル、最大瞬間風速は70メートルで非常に強い勢力の台風となっています。

台風第8号は、10日には非常に強い勢力で先島諸島にかなり接近する見込みです。

2 予想される風や波、雨量などの防災事項

先島諸島では、台風の接近に伴い急に風が強まり、波が高まる見込みです。台風が最も接近する10日昼過ぎから夜にかけては、最大風速45メートル、最大瞬間風速60メートルの猛烈な風が吹く見込みです。暴風やうねりを伴った高波に厳重に警戒してください。

先島諸島では、10日は1時間に80から100ミリの猛烈な雨が降る見込みで、11日12時までの24時間雨量は200から300ミリとなる見込みです。土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重な警戒が必要です。

また、先島諸島では台風がかなり接近する10日夕方から夜のはじめ頃にかけては、潮位が高くなる見込みです。海岸や河口付近の低地では高潮による浸水や冠水のおそれがありますので注意・警戒してください。

風や雨が強まり外での行動が困難となる前の9日の明るいうちに早めの対策を行い、市町村が発令する避難情報に従うなど、適切な行動をとってください。危険な場所には近づかないでください。過去に土砂災害や洪水害、高潮害などが発生した地域は特に警戒してください。

過去の台風災害から、最大瞬間風速60メートル以上の風が吹くと、家屋の倒壊や車両の横転・破損、広範囲な電柱の倒壊、倒木による道路寸断や建物の損壊、長時間の停電、ガラス窓の破損等が予想されます。また、強風による転倒やドア開閉時の指の負傷等の人的被害も発生しています。

3 具体的な台風対策

(家の外の備え)

- ・窓の雨戸は、しっかりとカギをかけ、必要に応じて補強しましょう。
- ・側溝や排水口は、掃除をして水はけをよくしておきましょう。
- ・風で飛びやすい物は、飛ばないように固定したり、家の中へ入れましょう。
- ・倒木のおそれがありますので、枝打ちを行うとともに、木の近くには駐車は避けるようにしましょう。
- ・風が強まると高所での作業は危険ですので控えましょう。
- ・大雨が予想されるため、河川や道路の工事中の所は早めの対策をお願いします。
- ・高潮と高波、大雨が重なり、海岸付近の低い土地の浸水、港湾内での船舶の被害のおそれがあります。早めの対策をお願いします。

(家の中の備え)

- ・長時間の停電に備えて携帯電話の充電や懐中電灯、ラジオ、電池等の準備をしましょう。
- ・非常用品(救急薬品、非常用食品、飲料水など)を確保しましょう。
- ・断水に備えて、飲料水を確保するほか、浴槽に水を張るなどして生活用水を確保しましょう。

(台風が接近しているときは)

- ・風、雨が強まってからの不要不急の外出等は控えてください。
- ・海や川、がけの近くなど危険な場所には絶対に近づかないでください。
- ・避難場所を事前に確認し、身の危険を感じたら安全を確保しながら自主的に避難しましょう。
- ・古い木造住宅やプレハブ住宅などは、暴風により倒壊する危険性があります。避難所への自主避難を心がけてください。
- ・暴風域に入る時間帯が夜になる場合は、明るい内に避難所へ避難しましょう。特に、避難に支援を必要とする要配慮者の皆さんは、地域で助け合って早めに避難所へ避難させてあげましょう。
- ・市町村長から避難指示があった場合は、すぐにその指示に従えるよう準備し、あわてず速やかに避難しましょう。
- ・過去に土砂災害や洪水害、高潮害などが発生した地域は、特に警戒してください。
- ・台風之眼に入っても風が弱まっても、猛烈な吹き返しの風がありますので外出はやめましょう。
- ・竜巻などの激しい突風にも注意が必要です。発達した積乱雲の近づく兆しがある場合には、建物内に移動するなど、安全確保に努めてください。
- ・気象台が発表する「台風情報」「警報・注意報」など最新の気象情報を入手しましょう。

問い合わせ先 沖縄気象台業務課 (098-833-4283)

(参考) 過去の災害状況

2003年9月10～12日に宮古島地方へ接近した台風第14号（マエミー）の被害状況
 (宮古島：最大風速 38.4 m/s、最大瞬間風速 74.1 m/s)



暴風により破壊された車（気象台職員撮影） 暴風により倒壊した電柱（気象台職員撮影）

2015年8月23日に八重山地方へ接近した台風第15号の被害状況
 (石垣島：最大風速 47.9m/s、最大瞬間風速 71.0m/s)



暴風により破壊された車（気象台職員撮影） 高波により沈没した船（気象台職員撮影）

観測史上1～5位の値(年間を通じての値)

宮古島(沖縄県)

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	統計開始
日最大風速・風向 (m/s)	60.8 北東 (1966/9/5)	54.3 北東 (1968/9/23)	54.0 北東 (1968/9/22)	53.0 南西 (1959/9/15)	47.5 西 (1957/9/25)	1938年1月
日最大瞬間風速・風向 (m/s)	85.3 北東 (1966/9/5)	79.8 北東 (1968/9/22)	78.0 北北東 (1968/9/23)	74.1 北 (2003/9/11)	70.0 北北東 (1950/6/23)	1938年1月
日最低海面気圧 (hPa)	908.1 (1959/9/15)	912 (2003/9/11)	928.9 (1966/9/5)	934.1 (1956/8/1)	942.5 (1968/9/23)	1938年1月

石垣島(沖縄県)

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	統計開始
日最大風速・風向 (m/s)	53.0 南東 (1977/7/31)	50.3 南 (1933/9/17)	49.5 北東 (1897/11/3)	48.6 南南西 (1914/9/6)	48.2 南西 (2006/9/16)	1897年6月
日最大瞬間風速・風向 (m/s)	71.0 南南西 (2015/8/23)	70.2 南東 (1977/7/31)	67.0 西南西 (2006/9/16)	66.9 南南東 (1971/9/22)	63.5 東 (1995/9/22)	1941年6月
日最低海面気圧 (hPa)	923.5 (1963/9/10)	926.3 (1963/9/11)	926.4 (2006/9/16)	931.2 (1920/9/3)	931.7 (1977/7/31)	1897年5月

<参考資料>

◆雨の強さと降り方

1時間雨量 (mm)	雨の強さ (予報用語)	人の受けるイメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10~20	やや強い雨	ザーザーと降る。	地面からの跳ね返りで足元がぬれる。 	雨の音で話し声がよく聞き取れない。 	地面一面に水たまりができる。 	
20~30	強い雨	どしゃ降り。	傘をさしていてもぬれる。 	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく。 	道路が川のようになる。 	ワイパーを速くしても見づらい。 
30~50	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る。				高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じ、ブレーキが効かなくなる。(ハイドロプレーニング現象) 
50~80	非常に激しい雨	滝のように降る。(ゴーゴーと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる。 		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。 	車の運転は危険。 
80~	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。				

◆風の強さと吹き方

平均風速 (m/s) おおよその時速	風の強さ (予報用語)	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	瞬間風速 (m/s)
10~15 [~約50km/h]	やや強い風	一般道路の自動車	風に向かって歩けにくくなる。傘がさせない。 	樹木全体が揺れ始める。電線が揺れ始める。 	道路の吹流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける。 	種(とい)が揺れ始める。 	20
15~20 [~約70km/h]	強い風	高速道路の自動車	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。 	電線が鳴り始める。看板やトタン板が外れ始める。 	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる。 	屋根瓦・屋根葺材がはかれるものがある。雨戸やシャッターが揺れる。 	30
20~25 [~約90km/h]	非常に強い風		何かにつかまっていらないと立っていられない。飛来物によって負傷するおそれがある。 	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。 	通常の速度で運転するのが困難になる。 	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。ビニールハウスのフィルム(被覆材)が広範囲に破れる。 	40
30~35 [~約125km/h]		猛烈な風	屋外での行動はきわめて危険。 	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。 	走行中のトラックが横転する。 	固定の不十分な金属屋根の葺材がめくれる。養生の不十分な仮設足場が崩落する。 	50
35~40 [~約140km/h]	特急電車				外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある。 	住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。 	60
40~ [約140km/h~]							